

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ 運動情報

第 433 号 本号 16 ページ

2014 年 4 月 10 日（木）

『戦争する国』づくり許すな！秘密保護法 廃止へ！4・12全国交流集会」迫る

渡辺治先生の講演、新潟、長野、愛知の発言も準備完了

憲法会議が呼びかけ、神奈川県平和委員会、自由法曹団、新日本婦人の会、全国商工団体連合会、全国労働組合総連合、全日本民主医療機関連合会、東京総合教育センター、東京地方労働組合評議会、日本科学者会議、日本共産党中央委員会、日本国民救援会、日本宗教者平和協議会、日本婦人団体連合会、日本平和委員会、日本民主主義文学会、日本民主青年同盟、農民運動全国連合会が賛同して準備が進んでいる4・12全国交流集会が迫りました。

集会は4月12日（土）午後1時30分～4時45分、会場は文京区民センター3A集会室です。（資料代500円）

全国各地、各団体から参加し、秘密保護法反対・廃止の運動で示されているエネルギーの確認と集団的自衛権行使容認を許さない運動を飛躍させる機会にしましょう。

渡辺先生の講演『戦争する国』に向け暴走する安倍政権、集団的自衛権と秘密保護法』で集団的自衛権、秘密保護法の歴史的背景を解明

講師を務める渡辺治一橋大学名誉教授には、改憲・集団的自衛権と秘密保護法は1990年代以降、いつ、なぜ登場したかなど、新しい論点を示していただける予定です。

渡辺講演の3つの柱は次のとおりです。

- ①改憲・集団的自衛権行使容認策動の歴史と安倍政権の位置
- ②安倍政権の集団的自衛権、秘密保護法強行のねらいと新段階
- ③いかに立ち向かうか

衆議院憲法審査会

7党「手続法」改正案、提案理由説明を執行 憲法破壊勢力、明文改憲にも執着—17日審査 会審議、24日にも採決を企図

「4・8大集会&デモ」の成功に示された共同の力で、集団的自衛権行使容認にも明文改憲にも反

対！一国民の声を今こそ！！

衆院憲法審査会は 10 日午後、予定の 3 時 10 分には始まらず、中谷元委員が遅刻して会場の第一委員会室に入ったのを待って、3 時 21 分、開会前から自民、公明、民主、維新、みんな、結い、生活の与野党 7 党を代表する各委員が説明側の席に並ぶ光景の中、開会。冒頭、維新の会から提出されていた改憲手続法改正案の取り下げ・撤回の手続きが行われました。続いて、7 党提案の「改正」案の「提案理由説明聴取」が行われ、船田元自民党筆頭幹事が説明に立ち、「提案理由説明」を読み上げました。

【別紙に「提案理由説明」2 頁、「法律案概要」1 頁、「法律案」5 頁、「新旧対照条文」6 頁】

審査会での「憲法改正手続法」改正の動きは、安倍政権が集団的自衛権行使容認にむけ、暴走を続ける中、「明文改憲」の存在を示そうという、改憲勢力の内部の矛盾を露呈させたものともいえます。

次回審査会は 17 日 9 時から 世論背景に傍聴し、監視を！

4 月 17 日（木）午前 9 時から 11 時 30 分、憲法審査会が開かれ、改憲手続法改正案の審議が行われます。

提案した 7 党が各 15 分、日本共産党が 45 分の質疑を行う予定です。

憲法会議は 17 日の審査会の傍聴参加を呼びかけます。

【訂正】前号（432 号）本文 3 行目末尾に誤字がありました。（）内を「（日本共産党は反対）」に訂正します。